

子どもに関する政策討論会議 有識者からの意見聴取について

9月21日（木）

10:00～12:00 ※オンライン

■ 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター

こころの診療部 臨床研究員 ^{やまぐち}山口 ^{ありさ}有沙 氏

立命館大学国際関係学部を卒業後、山口大学医学部に編入し、医師免許取得。東京大学医学部附属病院小児科などを経て、現在は国立成育医療研究センターこころの診療部臨床研究員で、コロナ×こども本部のメンバー。

コロナ×こども本部は、「コロナ×こどもアンケート」調査を通して、新型コロナ流行期のこどもと保護者の生活と健康の現状を明らかにすること、問題の早期発見や予防・対策に役立てること等を目的に、国立成育医療研究センターの研究者・医師により結成されたものである。

他にも子どもの虐待防止センターに所属し、地域の児童相談所や一時保護所での相談業務などを行なっている。こども家庭庁アドバイザー。ジョンスホプキンス大学公衆衛生学修士。

13:00～15:00

■ こども家庭庁 支援局家庭福祉課

企画調整官（兼）課長補佐 ^{こうち}胡内 ^{あつし}敦司 氏

こども家庭庁は、常にこどもの最善の利益を第一に考え、子どもに関する取組・政策を我が国の真ん中に据えて、こどもの視点で、こどもを取り巻くあらゆる環境を視野に入れ、子どもの権利を保障し、こどもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しするための司令塔として令和5年4月1日に設置された。支援局家庭福祉課では、ひとり親家庭、低所得の子育て家庭への支援、子どもの貧困対策を行っている。

9月29日（金）

13:00～15:00 ※オンライン

■東京都立大学 人文社会学部 人間社会学科 社会福祉学教室 教授
子ども・若者貧困研究センター センター長 阿部^{あべ}彩^{あや}氏

海外経済協力基金、国立社会保障・人口問題研究所を経て、2015年より東京都立大学人文社会学部人間社会学科教授。同年に子ども・若者貧困研究センターを立ち上げる。専門は、貧困、社会的排除、公的扶助。著書に、『子どもの貧困』『子どもの貧困II』（岩波書店）、『子どもの貧困と食格差』（共著、大月書店）など。『生活保護の経済分析』（共著、東京大学出版会）にて第51回日経・経済図書文化賞を受賞。